

# 取扱説明書

DVD-ROM ドライブサブシステム

# PCP-SR100D

**LaserMemory**

COMPACT  
disc

DVD  
ROM

裏側はインストール説明書になっています。

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。



お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

## 目 次



安全上のご注意 .....	2
特 徴 .....	4
設置について .....	5
各部の名称と働き .....	6
SCSI-IDの設定 .....	8
接 続 .....	10
操作方法 .....	12
ディスクについて .....	15
お手入れのしかた .....	16
故障?ちょっと調べてください .....	17
保証とアフターサービス .....	18
仕 様 .....	19

# 安全上のご注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵記号の例

	○記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 警告

### 異常なときには使わない

万一、煙、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



### 水や異物が入ったら

万一、内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### 本体を落とさない

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店以後連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### 放熱が良くて安定した場所に設置する

放熱をよくするため他の機器、壁などから間隔をとり、またラックにいれるときはすきまをあけてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



### 水に濡らさない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



## 警告

### 異物を入れない

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

### 分解・改造しない

分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

### コードを傷つけない

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

### 落雷危険

雷が鳴りだしたら本体や接続ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

### ご使用は国内のみ

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。



禁止

## 注意

### シールドケーブルを使用すること

本機にはSCSIケーブルは添付していません。そのため、本機使用时にはシールド付きSCSIケーブルを別途お買い求めください。シールドが無いケーブルを使用した場合、電波障害等の発生の恐れがあります。



注意

### 移動するときには注意して

移動させるときは、接続ケーブルを抜いたことを確認のうえ、移動してください。つながったまま移動させると、接続ケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意

### 濡れた手で接続プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



禁止

### レーザー光源をのぞき込まない。

レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



禁止

### 手をはさまないように気を付ける

ディスクの挿入口に手を入れないようにご注意ください。指等がはさまれてけがの原因になることがあります。



注意

### 長時間使わないときには電源プラグを抜く

旅行などで長時間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

### 保守時には電源プラグを抜く

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



プラグを抜く

## 特 徴

- 高転送レート（サスティン）  
DVD-ROMで1,380Mbytes/sec、CD-ROMで1,2Mbytes/sec～1,5Mbytes/secの転送レートを実現しています。
- 高速アクセス
- SCSI-2対応インターフェース仕様（非同期転送時：5Mbytes/sec、同期転送時：10Mbytes/sec）
- アクティブターミネータ内蔵
- 対応フォーマット  
DVD-ROM（DVD-5,DVD-9） CD-ROM：Model 1  
DVD-R CD-ROM-XA  
DVD-V<sup>\*1</sup> CD-DA  
DVD-A CD EXTRA
- MPC Level3準拠

\*1: 再生するためには、別売のパイオニア製デコーダーボードが必要です。



### ご注意

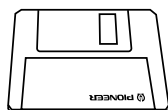
- DVD-RAMとCD-Rは使用しないでください。本機は、DVD-RAMとCD-Rには対応しておりません。
- 振動検出による回転数制御  
重心位置がずれたディスクを再生すると、高速回転するときに振動が発生します。本機はこの振動による悪影響を排除する機能をもっています。重心位置がずれたディスクを再生したときに振動検出が行なわれると、回転数が制御されてデータ転送レートが低下することがあります。

### 注意

本機でDVD-VIDEOをお楽しみになる場合は、別売のパイオニア製デコーダーボード（PCP-DV100:PCIスロットを装備したアップル社製Macintoshおよび互換機用）をご使用ください。他社製のデコーダーボードを使用した場合の動画再生および動作の不具合に関しては、当社は保証その他のサポートを一切行いませんのでご注意ください。

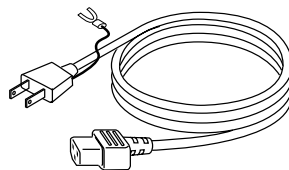
### 付属品の確認

- インストールディスク  
（DVD/CD-ROMドライブソフトウェア）  
Macintosh用 × 1



- 取扱説明書/インストール説明書 × 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 × 1
- 保証書 × 1

- 電源コード × 1



# 設置について

## 設置上の注意

本機は、非常に精密に作られたエレクトロニクス機器です。強い振動、衝撃を避け、高温、多湿、ホコリの多い場所に置かないでください。

■ 安定した場所に置いてください。

水平で安定した台の上などに置いて使用してください。また、ぐらつく所や、ソファの上などの不安定な所で使用しないでください。



ご注意

垂直に立てて使用することはできません。必ず、ディスクトレイが水平になるようにして設置してください。

■ 本機の上に他の機器を載せないでください。

本機の上に他の機器を載せると、キャビネットが変形して故障の原因となります。

■ 熱を発生する機器の上に置かないでください。

熱を発生する機器の上に置いて長時間使用すると、ディスクや本機に悪い影響を与えますので、熱を発生する機器の上に直接置かないでください。

## 結露現象について

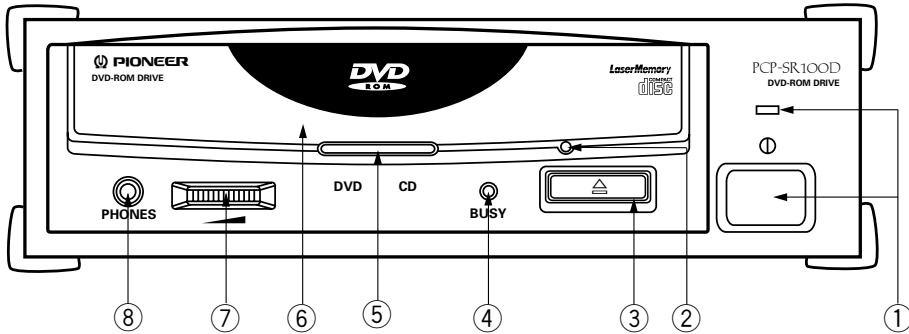
冬季などに本機を屋外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露が付きます。露が付いたままですとレーザー光による信号の読み取りができなくなります。このような場合は、いったん電源を切って1～2時間程度放置するか、室温を徐々に上げてから使用してください。

## 特に注意していただきたいこと

- ドライブ中に動かしたり、持ち上げたりしないでください。ドライブ中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、移動したりすると、ディスクに傷を付けます。
- 本機を移動する際はディスクを取り出し、本機の電源を切ってください。ディスクを入れたまま本機を移動すると、本機の内部にディスクが落ちる恐れがあります。ディスクを入れたまま移動することは、絶対にやめてください。

# 各部の名称と働き

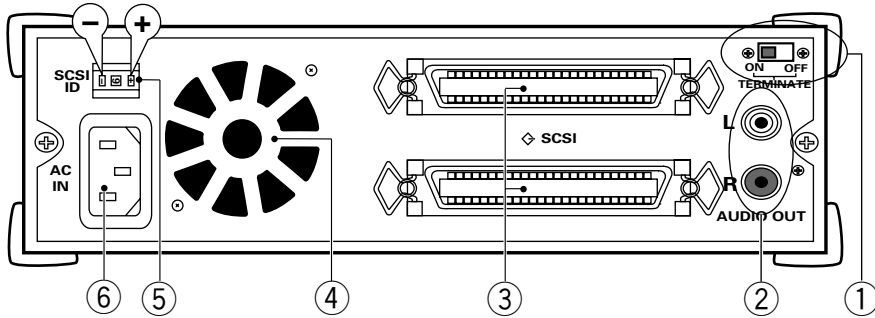
## フロントパネル



- ① 電源スイッチ(ⓐ)/電源インジケータ  
押しで電源を入/切します。インジケータは電源を入れると点灯します。
- ② 強制イジェクトホール  
イジェクトボタンが機能しなくなったときに、ここに硬い棒状の物を挿入し、押すことにより、ディスクトレイが出せます。この操作はドライブの電源を切ってから行ってください。
- ③ イジェクトボタン  
ディスクトレイの出し入れを行うボタンです。
- ④ ビジーインジケータ(BUSY)  
データアクセス中に点滅します。
- ⑤ DVD/CDインジケータ  
DVD-ROMを再生するとDVD側が点灯します。CD-ROMを再生するとCD側が点灯します。
- ⑥ ディスクトレイ  
ストップ/イジェクトボタンによりオートローディングします。CD-ROMのラベル面を上にして乗せてください。
- ⑦ ヘッドホン音量調節つまみ  
ヘッドホン端子の音量を調整する時に使用します。
- ⑧ ヘッドホン端子(PHONES)  
ヘッドホンを接続するステレオミニジャックです。オーディオCDを再生したときだけ出力されます。

## 各部の名称と働き

### リアパネル



#### ① SCISIターミネータON/OFFスイッチ

本機に内蔵しているSCISIターミネータを使用する場合にはオンにします。  
(工場出荷時：ON)

#### ② オーディオ出力端子(AUDIO OUT)

オーディオCDの再生信号を出力します。ステレオアンプと接続します。

#### ③ SCISIコネクタ

一方はSCISIインターフェースボード(コンピュータ)と接続します。もう一方は、増設(ディジータチェーン)用として使用します。

#### ④ ファン

本機の内蔵ドライブなどを冷却するためのファンです。指でさわったり、他のもので穴をふさがないようにしてください。

#### ⑤ SCISI-IDスイッチ

本機のSCISI IDを設定するスイッチです。プラス(+ )キーとマイナス(- )キーを操作することによりIDを設定できます。(工場出荷時：ID 6)設定は必ず電源を切った状態で行います。

#### ⑥ ACインレット

付属の電源コードを使用して壁のコンセント(AC100V、50/60Hz)に接続します。

## SCSI-IDの設定

### インターフェースボードについて

本機のデバイスドライバーは、下記で動作します。

- SCSIポート内蔵マッキントッシュコンピュータ
- パイオニア製MPCシリーズコンピュータ

### SCSI-IDの設定

SCSI機器は0～7のID番号で照合され、ID番号7がSCSIインターフェースボードに使われます。

■ マッキントッシュおよびパイオニアMPCシリーズでご使用の場合ID番号の設定は基本的には変更する必要はありませんが、他のSCSI機器が接続されている場合には、その機器のID番号と異なった場合に設定する必要があります。



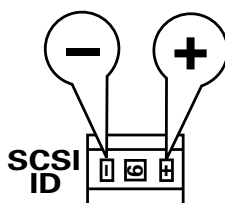
## SCSI-IDの設定

### ■ 設定操作

- リアパネルのSCSI-IDスイッチのプラス(+)キー側またはマイナス(-)キー側をボールペンの先などで押し、目的の番号に設定します。

#### ご注意

- SCSI IDを設定する際は、必ず本機の電源をオフにしてください。
- 必ず、他の周辺機器と違うID番号にしてください。



例) SCSI IDを6に設定した場合(工場出荷時)

### SCSIターミネータの設定

SCSIターミネータは、SCSIディジーチェーン始めと終わりにおけるライン反射を吸収するため使われる手段です。データ転送の妨害を最小にして本機を正しく動作させるため、SCSIターミネータの設定が必要となります。

- 本機はSCSIターミネータを内蔵しており、リアパネルのターミネータスイッチでオン/オフを行います(工場出荷時はON)。



ON : SCSIインターフェイスボードに接続されるSCSI機器が本機の場合、または本機をディジーチェーンの最後に接続する場合。

OFF : 本機をディジーチェーンの途中に接続する場合。

### ⊘ ご注意

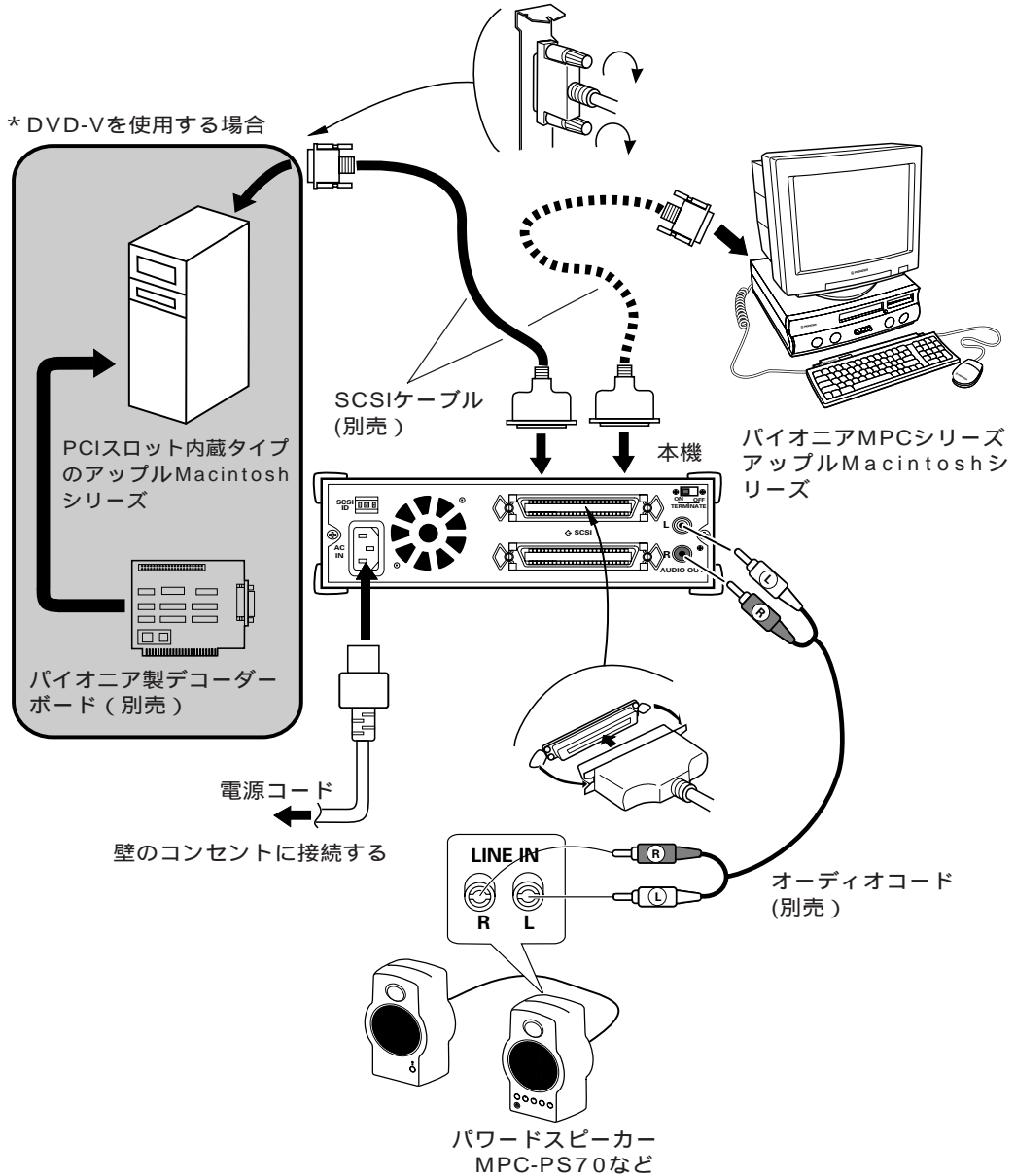
禁止

本機はSCSIターミネータを内蔵しているため、使用していないSCSIコネクタ端子に外部ターミネータを接続することは、絶対にやめてください。

# 接 続

- 本機を他のSCSI機器に接続する前に、システムの全ての機器の電源を必ず切ってください。
- SCSIケーブルの最大長(ディジーチェーン接続時は総延長)は6m以内にしてください。

## 接続図



## 接 続

### ■ SCSIインターフェイスボードに接続されるSCSI機器が本機のみの場合

1. システムとすべての外部SCSI機器の電源を切る。
2. SCSI ID番号を他に使われていない番号に設定する。
3. 内蔵ターミネータをオンにする。
4. SCSIケーブルをコンピュータのSCSIインターフェイスポートに接続する。
5. オス50ピン セントロニクスコネクタ(SCSIケーブルの他方の一端)を本機に接続する。
6. 電源コードを本機と電源に接続する。
7. 本機とすべての外部SCSI機器およびシステムの電源を入れる。

### ■ 本機をディジーチェーンの途中で接続する場合

1. システムとすべての外部SCSI機器の電源を切る。
2. SCSI ID番号を他に使われていない番号に設定する。
3. 内蔵ターミネータをオフにする。
4. 本機を割り込ませる前後の機器のSCSIケーブルをはずす。
5. 本機に適合するSCSIケーブルで本機と前にくる機器を接続する。
6. SCSIケーブルで本機と後にくる機器を接続する。
7. 電源コードを本機と電源に接続する。
8. 本機とすべての外部SCSI機器およびシステムの電源を入れる。

### ■ 本機をディジーチェーンの最後に接続する場合

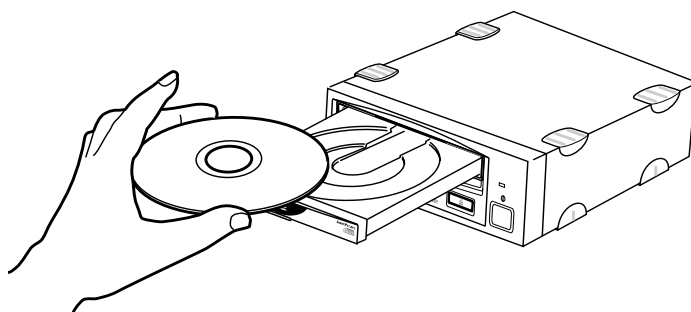
1. システムとすべての外部SCSI機器の電源を切る。
2. SCSI ID番号を他に使われていない番号に設定する。
3. 内蔵ターミネータをオンにし、ディジーチェーンの途中の接続になる機器のターミネータをはずす。
4. SCSIケーブルでディジーチェーンの最後にあった機器と本機を接続する。
5. 電源コードを本機と電源に接続する。
6. 本機とすべての外部SCSI機器およびシステムの電源を入れる。

# 操作方法

本機はパワートレイローディング方式ですので、ディスクのセットが簡単に行えます。キャディーカートリッジは必要としません。

## ディスクのセットの方法

- ディスクトレイのイジェクト  
ドライブの電源が入っている状態でドライブ前面のイジェクト/ストップボタンを押すと、ディスクトレイが出て来ます。
- ディスクのセット  
ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイにセットします。8cmディスク使用時は、ディスクをトレイの中心の一段下がったミゾにセットします。



- ディスクトレイのローディング  
ディスクをディスクトレイに乗せた後に、イジェクト/ストップボタンを押すか、ディスクトレイを軽く押し込むと自動的にトレイが引き込みディスクが機器内部にセットされます。

## ⊘ ご注意

禁止

- ディスクトレイの溝からずれてディスクをセットしたり、一度の2枚のディスクをセットすると正しく再生されないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります、
- ディスクトレイが出た状態で、ディスクトレイを上から押したり、重量物を乗せないでください。ディスクトレイが損傷する場合があります。

## 操作方法

### ディスクの取り出し方法

ドライブを開く方法はいくつかあります。コンピュータ画面にCD-ROMまたはDVD-ROMのアイコンが表示されているときは、下記のいずれかの方法でディスクトレイを開くことができます。

- CD-ROMまたはDVD-ROMのアイコンをゴミ箱へドラッグする。
- CD-ROMまたはDVD-ROMのアイコンをクリックしてから、ファイルメニューから ” 片付ける ” を選ぶ。

CD-ROMまたはDVD-ROMのアイコンが表示されていないときは、下記の操作でディスクトレイを開いてください。

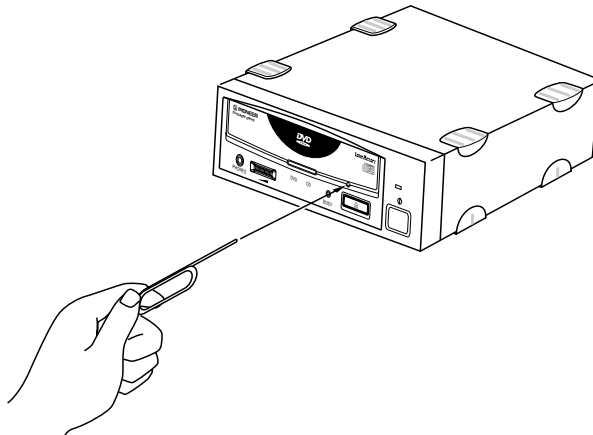
- 本機のビジーインジケータが消えている事を確認し、イジェクト/ストップボタンを押す。

### 緊急時のディスクの取り出しの方法

次のような場合、強制イジェクトホールを使ってディスクを取り出すことが可能です。

ドライブが故障し、イジェクト/ストップボタンまたはソフトウェアにてディスクトレイを取り出せないとき  
電源が入っていない時に、内部のディスクを取り出したいとき

- パーソナルコンピュータの電源が切れていることを確認してください。
- 延ばしたペーパークリップのような先が細く、かたい、棒状のものを強制イジェクトホールに真すぐ差し込み強く押ししてください。
- ディスクトレイが少し出ますので手で引き出してください。



## 操作方法

本機を操作するには、ソフトウェアデバイスとその他のファイルをコンピュータにインストールする必要があります。ソフトウェアデバイスのインストールについては、裏側のインストール説明書を参照してください。ここでは、インストールする前のシステムのハードウェア操作についてのみ、述べます。

### 基本操作

#### ■ CD-ROM/DVD-ROMシステムの起動

1. 本機の電源を入れる。
2. コンピュータシステムの電源を入れる。
3. ラベル面を上にしてCD-ROMを本機に入れる。

#### ■ CD-ROM/DVD-ROMシステムの終了

1. ソフトウェアプログラムを終了する。
2. コンピュータシステムの電源を切る。
3. 本機の電源を切る。

### オーディオディスクの再生のしかた

本機には、単独でオーディオディスクを再生する機能はありません。オーディオディスクを再生するにはコンピュータのプログラムソフトウェアを使用してください。くわしくは、ご使用になるコンピュータシステムの取扱説明書を参照してください。

\* オーディオの再生はヘッドホン端子あるいは、オーディオアウトプット端子を使って聞くことができます。

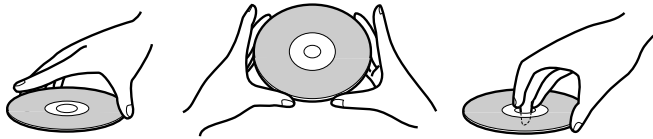
### ヘッドホンの使い方

ヘッドホン音量調節つまみはヘッドホンのボリュームレベルをコントロールします。ノブを右に回すとヘッドホンの音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

## ディスクについて

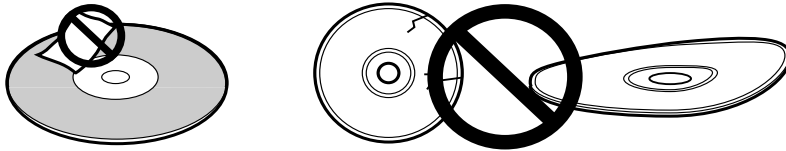
### ディスクの取扱い

- ディスクを直接持つときは信号面(光沢面)に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



### ⚠ 注意

- ディスクに紙やシールなどを貼付けないでください。
- ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは使用しないでください (高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です)。



- 下記の場合は、本機で読み取れない場合があります。
  1. ディスク規格を大きく外れた一部のCD-DISCのとき
  2. ディスクに汚れやキズがあるとき

このような場合には、DVDインジケータとCDインジケータが交互に点灯します。

本機では、DVDおよびCDの規格を満足しております。特定のCD-DISCが読み取れないときは、ディスクが規格外であることが考えられます。そのときは、ディスクの発売元が製造元にお問い合わせください。

## お手入れのしかた

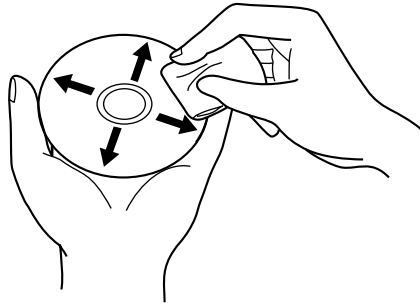
### お手入れについて

キャビネットやパネル面などは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジン、シンナー殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

### ディスクのクリーニング

ディスクに指紋やホコリがついた場合でも、ディスクに記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが減少して、データを正しく読み取れない場合があります。いつもディスクをきれいにしておくことを心掛けてください。

1. ディスクが単にホコリっぽいなら、ホコリを吹き飛ばすタイプの市販のホコリ除去スプレーが使えます。
2. ホコリを取り除いてから、やわらかい布で拭きます。
  - ディスクの内側から外側に向かって、放射状に拭きます。円周に沿って拭かないでください。



3. ホコリや汚れがひどい場合や、乾拭きしても取れない場合は、コンピュータ販売店で手に入るCD-ROMディスククリーナをお使いください。その使用方法についてはクリーナの梱包箱の記事に従ってください。



ご注意

レコードスプレー、帯電防止剤は使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがあるので、使用しないでください。



## 故障？ ちょっと調べてください

意外な操作ミスが故障とされています。故障かな?と思ったら症状にあわせて下の項目をチェックしてください。

### ■ 電源インジケータが点灯しない

- 電源コードを正しく接続していますか？
- 電源スイッチをオンしていますか？

### ■ コンピュータがSCSI機器を認識して正しく起動しない

- コンピュータを起動する前に、全てのSCSI機器を接続し、オンしましたか？  
⇒ディジーチェーンの全てのSCSI機器をオンしてからコンピュータを起動してください。
- ケーブルを正しく接続しましたか？  
⇒全てのケーブルを正しいポートに接続してください。
- SCSI IDは正しくセットされていますか？  
⇒SCSIチェーン上の機器はそれぞれ異なったID番号にしてください。
- ターミネータスイッチのポジションは正しくセットされていますか？  
⇒本機が唯一のSCSI機器の場合とSCSIディジーチェーンの最終端の場合にはターミネータスイッチをONにセットしてください。
- 本機とコンピュータの組合せにあったソフトウェアデバイスドライバをインストールしてありますか？  
⇒ソフトウェアデバイスドライバをインストールしてなければ、裏側のインストール説明書を参照して付属のインストールディスクからデバイスドライバをご使用のコンピュータにインストールしてください。

### ■ CD-ROM/DVD-ROMからデータを読み出せない

- ディスクのレーベル面を上にしてディスクトレイにセットしましたか？
- ビジーインジケータ(BUSY)が点灯していませんか？
- ディスクが汚れたり、傷ついたりしていませんか？
- SCSIケーブルがインターフェイスボードやその他のSCSI機器と正しく接続されていますか？
- DVD-RAMまたはCD-Rを使用していませんか？  
⇒本機では使用できません。

### ■ 音楽CDから音が出ない

- 本機のAUDIO OUT端子をステレオアンプなどに接続していますか？
- ヘッドホンなどを接続していますか？
- ヘッドホン音量調節つまみが最小の位置になっていませんか？

### ■ DVDインジケータとCDインジケータが交互に点灯する

- ディスク規格を大きく外れたCDディスクを使用していませんか？
- ディスクに汚れやキズがありませんか？

## 保証とアフターサービスについて

### 保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

### 保証期間と保証内容について

- 保証期間は、取扱説明書等の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。
- 次のような場合は性能・動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。
  - 本機を改造して使用した場合。
  - 不正使用や使用上の誤りの場合。
  - 他社製品等と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低4年間保有しています。

### 修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源を切ってから、次の処置をしてください。

#### ● 保証期間中は

万一、故障が生じたときには、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

#### ● 保証期間が過ぎているときは

お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

# 仕 様

## ■ 一般

使用ディスク ..... CD-ROM,CDオーディオ,DVD-ROM(DVD-5,DVD-9)  
(8cm/12cmディスク専用) ..... DVD-R,DVD-V,DVD-A  
(但し、DVD-RAM,CD-Rは不可)

データ転送速度:サスティンド

DVD-ROM ..... 1.38 M bytes/秒

CD-ROM ..... 1.23 ~ 1.54 M bytes/秒

インターフェイス ..... SCSI2

平均アクセス時間:

DVD-ROM ..... 200ms

CD-ROM ..... 150ms

平均シーク時間:

DVD-ROM ..... 150ms

CD-ROM ..... 130ms

## ■ オーディオ出力

周波数特性 ..... 17Hz ~ 20kHz ± 2dB

S/N比 ..... 70dB以上

ひずみ率 ..... 0.3%以下

出力レベル ..... 0.7V rms ± 0.1V(AUDIO OUT)

ヘッドホン出力 ..... 0.45Vrms ± 0.2V(Headphone,32Ω)

## ■ 付属品

インストールディスク(DVD/CD-ROMディスクドライブソフトウェア) ..... 1

電源コード ..... 1

取扱説明書/インストール説明書 ..... 1

ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 1

保証書 ..... 1

## ■ その他

電源 ..... AC100V, 50/60Hz, 14W(待機時: 9W)

外形寸法 ..... 197.7(幅) × 64.3(高さ) × 253.1(奥行き) mm

重量 ..... 2.1kg

動作温度 ..... +5 ~ +40

動作湿度 ..... 10% ~ 80%(結露のないこと)

保存温度 ..... -20 ~ +60

ターミネータ内蔵(ON/OFF可)

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

ユーザーサポートのご利用について

TEL 03-3495-5777 (平日：午前10:00～午後5:00)

FAX 03-3495-4355 (終日)

お電話によるお問い合わせは、回線の混雑状況によりご利用の皆様にご迷惑をおかけする場合があります。できる限り、FAXでのご利用をお願いいたします。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

© 1997 パイオニア株式会社 禁無断転載

 **パイオニア** 株式会社

 153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<QRA1060-A>

Macintosh用

インストール  
説明書

DVD/CD-ROM DRIVER

デバイスドライバーソフトウェア

裏側は取扱説明書になっています。

目 次

	ページ
ご使用になる前に必ずお読みください	2
1章 セットアップ方法	6
2章 添付ソフトのインストール	8
3章 Q&A	10

©パイオニア株式会社 1997  
©アップルコンピュータ社 1997

 **PIONEER®**  
——音と光の未来をひらく——

## ご使用になる前に必ずお読みください

弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。お買い上げいただいた製品につきまして、下記のとおりソフトウェアの使用、保証及び責任に関する規定を設けさせていただいております。本規定を十分お読みいただいたうえ、ご同意いただける場合のみソフトウェアをインストールするようにお願い致します。尚、本規定にご同意いただけない場合は、本製品をご購入いただいた販売店に返品くださるようお願いいたします。代金はお返しいたします。

### ソフトウェアのご使用条件

パイオニア株式会社（以下"弊社"といいます）は、本使用条件とともに提供する本ソフトウェア（Macintosh CD setup 及びデバイスドライバー）を使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾いたします。尚、期待する効果を得るための本ソフトウェアの選択、導入、使用及び、本ソフトウェアから得られる使用効果につきましてはお客様の責任とさせていただきます。

#### 使用権

##### 1. 使用許諾及び著作権等

弊社は、お客様に対し、本ソフトウェアを一時に弊社製CD-ROMドライブに接続した1台の端末または複数の端末のネットワーク（それぞれの端末用にマニュアルをお買い上げいただいた場合に限り）においてのみ使用することを許諾いたします。ソフトウェア・パッケージに複数枚のフロッピーディスクが同梱されている場合には、そのうち1枚のみご使用いただけます。本ソフトウェアの著作権は、Macintosh CD setup ,Installerについては、アップルコンピュータ社、デバイスドライバーについては弊社でございます。

##### 2. 複製の制限

お客様は、予備用とする場合に限り、本ソフトウェアを複製することができます。その場合、複製は、1枚に限らせていただきます。複製にも本ソフトウェアと同様の著作権表示をするものといたします。本ソフトウェアに付属する文面は、複写することはできません。

##### 3. 改変等の禁止

本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。

##### 4. 第三者の使用

本ソフトウェア及びその複製を貸し出し、その他の方法で、第三者に使用させることはできません。

##### 5. 譲渡

譲受人が本使用条件に同意し、お客様が複製を一切保持されないのであれば、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する文書を一括で譲渡することができます。

## 期間

本使用条件は、お客様が本ソフトウェアを入手された日より発効し、お客様から弊社宛の通知により終了することができます。尚、弊社はお客様が本使用条件に違反された場合は本使用権を終了させることができます。本ソフトウェアの使用権が終了した場合、お客様は直ちに本ソフトウェア及びその複製物全てを破棄するものいたします。

## 保証及び保証の制限

弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアのご使用により発生したいかなる問題（第三者への問題も含む）に対してもお客様の責任及び費用負担により処理されるものいたします。但し、通常使用下に於て支障をきたす様な物理的欠損が本ソフトウェアの記録媒体上にあった場合はお買い上げの日が確定できる領収書または、その写しを添えて60日以内にお買い上げの販売店へお持ちください。無償にて交換いたします。

## 責任の制限

弊社は前記保証の制限に基づいた範囲に於て責任を負います。もし、交換できない場合は本ソフトウェア及び全ての複製物を弊社へ返却されることを条件にお客様がお支払いになった代金を返却いたします。その際、本ソフトウェアの使用権は終了いたします。

弊社はお客様のいかなる損害、逸失利益に対して一切責任を負いません。また、第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害に対しても一切責任を負いません。これらの制限は損害発生に対して弊社が既に知っていた場合及び予見し得た場合にも適用されます。

## その他

本契約に関わる紛争は、弊社の所在する地域の法律に基づいて解決するものとなります。

## アップルコンピュータ社の著作権

本ソフトウェアのMacintosh版にはアップルコンピュータ社の著作権が含まれており、以下の事項も適用されます。

アップルコンピュータ社は、本ソフトウェアに関し、明示または黙示の品質、性能、商品価値、またはどのような特定の使用目的に対する適合性についても、その保証は表示いたしません。この結果、本ソフトウェアは、現状のままで販売されるものです。購入者は、本製品の品質および性能に関する全責任を負担するものとします。アップルコンピュータ社は、本ソフトウェアの欠陥の結果発生する直接、間接、特別、偶然または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性がある旨と告知されていた場合でも、一切の責任を負いません。同時に、アップルコンピュータ社は、プログラムまたはデータの回復に要する費用、または再製に要する費用を含めて、アップルコンピュータ社の製品に記憶された、または使用されるプログラムにつき、一切の責任を負いません。アップルコンピュータ社の販売元、アップル販売店またはこれらの社員は、この責任に関し、いかなる修正、拡大または追加をすることを授權されていません。

## パイオニア株式会社

〒153 東京都目黒区目黒 1丁目 4番 1号 TEL 03-3494-1111

## はじめに

同梱されているフロッピーは、パイオニア製のDVD-ROMドライブをマックintoshコンピュータと接続するのに必要なデバイスドライバーです。デバイスドライバーとは、コンピュータのSystemに常駐させてDVD-ROMドライブとのデータのやり取りの仲立ちを行うソフトウェアです。本フロッピーの使用に際しては、コンピュータの立ち上げやSCSIボードの知識が必要となりますので、コンピュータに付属のマニュアルやSCSIボードのマニュアルも参照してください。



パイオニア製のDVD-ROMドライブとアップルコンピュータ製のMacintoshとの接続について説明します。Macintosh用のフロッピーディスクには、PIONEER DVD-ROMというデバイスドライバーソフトウェアが入っています。

1) コンピュータにDVD-ROMドライブのデバイスドライバーをインストールします。

詳しくは、(第1章) セットアップ方法および(第2章) 添付ソフトのインストールの項を参照してください。

2) コンピュータの電源を切ります。

3) コンピュータとDVD-ROMドライブの電源を切った状態で、SCSIケーブルで両者を接続します。

4) DVD-ROMドライブの背面にあるSCSI IDをその他のSCSI機器が使用していないIDに設定します。

SCSI IDの設定については取扱説明書を参照してください。ほとんどのMacintoshは標準SCSIポートのSCSIバスに、SystemにID = 7、Hard diskにID = 0、内蔵のCD-ROMドライブにID = 3を使っています。

5) DVD-ROMドライブの電源を入れます。

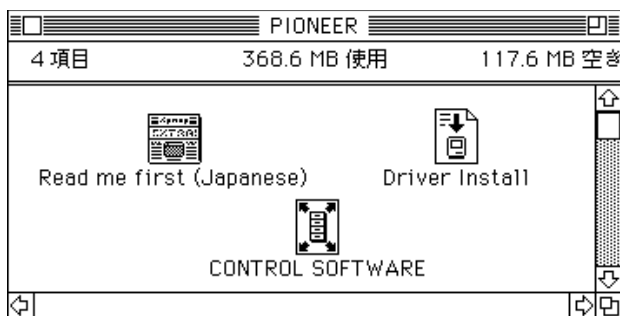
6) コンピュータを立ち上げます。

# 1章 セットアップ方法

MacintoshにDVD-ROMドライブを接続してDVD-ROMドライブを動作させるためには、デバイスドライバーのインストールが必要です。この章では必要なファイルのインストールの手順を説明します。また、あらかじめDVD-ROMを接続してSCSI ID (PCP-SR100Dでは初期値" 6 ")を設定し、電源を入れてください。

## インストール手順

1. フロッピーディスク"Macintosh用"をドライブにセットしてください。下図のように表示されます。



添付のフロッピーディスク"Macintosh用"には以下のファイルが収録されています。

- Driver Install  
DVD-ROMを動作させるのに必要なプログラムをMacintoshのシステムフォルダにコピーするソフトウェアです。
- Read me first(Japanese)  
デバイスドライバーやマニュアルの変更点や追加点が記述されています。Simple Textの書類です。
- CONTROL SOFTWARE  
音楽CD再生用のプログラムが圧縮されて入っています。インストールするには2章「添付ソフトのインストール」を参照してください。

2. "Driver Install"をダブルクリックして実行します。

3. ダイアログ表示されますので、” Install ” をクリックします。



4. インストールが完了するとリスタートダイアログが表示されます。リスタートしてください。Macintoshが再起動します。  
注意：必ずDVD-ROMドライブの電源が入っていることを確認してください。

5. Macintoshが立ち上がると起動時にPIONEER DVD-ROMが正常にインストールされていれば画面の下に下記のアイコンが表示されます。正常にインストールされたかどうか確認してください。



PIONEER DVD-ROMがインストールできなかった場合は下図のアイコンが表示されます。



DVD-ROMドライブの電源が入っているか、接続が正しいか取扱説明書の10ページを参照の上確認してください。また、PIONEER CD-ROM、Audio CD Access, Foreign File Access, High Sierra File Access, ISO 9660 File Access は機能拡張フォルダに入っていることを確認してください。

## 2章 添付ソフトのインストール

フロッピーディスク"Macintosh用"には音楽CD再生用ソフトウェアが収録されています。

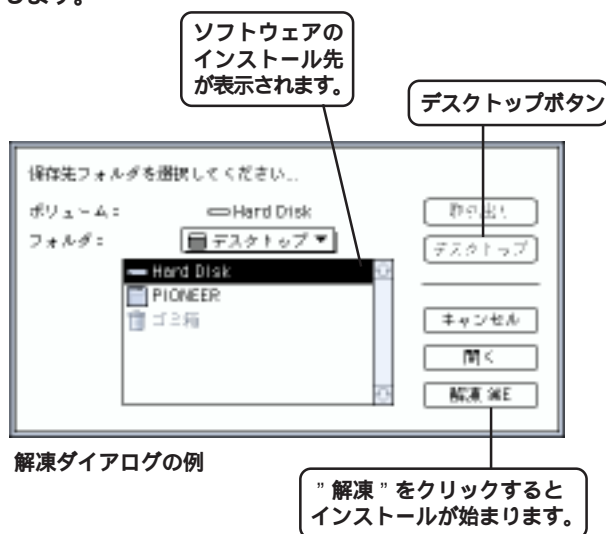
- CD Vision  
音楽CDの再生をコンピュータからコントロールするアプリケーションです。
- Audio CD Strip  
音楽CDを再生するコントロールバーです。  
漢字トーク7.5.2以降のシステムでお使いになれます。

ソフトウェアは「CONTROL SOFTWARE」という名前のファイルに圧縮された状態で記録されています。そのため、使用するにはお手持ちのコンピュータのハードディスクに作成する必要があります。以下に、インストールの手順を示します。

1. 「CONTROL SOFTWARE」というファイルをダブルクリックします。

2. 下図のようなダイアログが表示されます。

最初はフロッピーディスク内が選択されるので、「デスクトップ」ボタンを押してハードディスク内に作成されるように設定します。その後「解凍」ボタンを押します。



3. 指定した場所に「CD Vision」「Audio CD Strip」フォルダが作成されます。
4. アプリケーションのご利用方法はそれぞれのフォルダ内のRead Meをご覧ください。

## 3章 Q&A

以下に主な項目についてQ&Aを掲げました。参照してください。

- Q1 PIONEER DVD-ROMのドライバーがインストールできない。
- A1 メモリが足りない。  
メモリ不足にも2種類あります。一つはメモリ使用量の設定が過少なため、もう一つは絶対的なメモリ不足です。  
まずメモリ使用量の設定の過少によるものですが、出荷時の設定ではPIONEER DVD-ROMが使用するメモリの量はドライブ2台用になっています。それ以上の台数を接続している場合には、このメモリ不足の状態に陥ります。しかし、接続されている台数分に必要なメモリは次のスタートアップ時には自動的に確保されますので、一度リスタートすれば以後心配する必要はありません。  
絶対的なメモリ不足はメモリ増設をするかキャッシュメモリの設定を減らしたりインストールしている拡張機能/コントロールパネルを減らすなどしてPIONEER DVD-ROMが使用できるメモリを増やしてやる必要があります。
- A2 他のCD-ROM用のドライバーがインストールされている。  
PIONEER DVD-ROMはすでに他のドライバーがインストールされている場合には、ドライバーのインストールは行いません。他のドライバーをシステムフォルダーから出してください。但しAppleのCD-ROMドライブ用のデバイスドライバー"Apple CD-ROM" Ver5.01以降との併用は可能です。
- A3 ドライブの接続不良
- (1) 電源の問題  
電源は確実に入っていますか、ドライブの電源を後にいれると問題がある可能性があります。特に必要のないドライブの電源を切ったままにしようとする場合には、注意が必要です。ドライブの機種やターミネータの状態によっては、電源を入れておかないと立ち上がらなかったり、動作が極度に不安定になる場合がありますのでご注意ください。

- (2) ケーブルの接続不良  
ケーブルはちゃんと接続されていますか。コネクタにちゃんと奥まで入っていて、ロックされていることを確認してください。ケーブル自体にも問題がないか確認してください。
- (3) SCSI IDの重複  
SCSI IDの設定には問題はないでしょうか。重複がないか確認してください。SCSI-ID スイッチで設定を行ないますので、必ずマニュアルを参照して重複が無いように設定してください。
- (4) ターミネータの問題  
ターミネータの使い方には問題ないでしょうか、特に複数台のSCSIデバイスを接続している場合には注意が必要です。ターミネータはSCSIチェーンの始めと終わりのドライブにつけてください。この際、マッキントッシュの内蔵ハードディスクのターミネータがあることも忘れないように気を付けて、必要以上でも以下でもないように注意してください。  
DVD-ROMドライブの内蔵ターミネータはONにしてご使用ください。

- Q2 低いSCSI IDのドライブがマウントできない。  
A ドライバーのインストールは SCSI IDの高いほうから順次行っており、従って上位の SCSI IDのドライブ用のドライバーのみがインストールされて、低い SCSI IDのドライブ用のドライバーがインストールできなかったと考えられます。「Q1ドライバーがインストールできない」の項を参照してください。
- Q3 CD-ROMの読み出しが不安定である。  
A ドライブの接続、ターミネータの接続をもう一度確認してみてください。接触不良や、不適格なターミネータの接続によりSCSI BUSが不安定になる場合があります。

- Q4 **アップル社製CD-ROM ドライブとの併用について**  
A **併用が可能です。"PIONEER DVD-ROM"と"Apple CD-ROM"を機能拡張Folderに入れ使用します。**
- Q5 **Photo CDが読めない**  
A **MacintoshでPhoto CDを読むには、PIONEER DVD-ROMのインストールだけでは読めません。Apple社のソフトウェアであるQuickTimeとApple Photo Accessが必要になります。MacOSのインストーラ等からインストールしてください。ただし、本機はCD-Rには対応しておりません。**